



South Miyagi Medical Center

# 中核だより



第33号



## 病院理念

地域に信頼される、質の高い、親切な医療サービスを提供する

## 病院方針

- 医学・医療技術の進歩・発展を診療に反映させるように努め、地域の住民に安全で質の高い、患者さんの意思を尊重した医療及び快適な医療環境を提供する。
- 地域の医療機関との役割分担・機能連携のもとに、地域において不足している医療、特に第二次救急医療を強化し、二次医療圏での医療の充実を目指す。
- 地域の保健・医療・福祉機関との連携を図り、包括医療の向上に寄与する。
- 優秀な人材の育成を図るため、地域の医療従事者への教育・研修機能を充実させるとともに研修医・看護学生の受け入れを積極的に行う。

## 主な内容

## 看護師募集中



住民の医療安全への参加	2 ページ
診療科紹介(1)、面会時間のお知らせ	3 ページ
診療科紹介(2)、外来ボランティアの募集について	4 ページ
緩和ケア病棟について、地域住民の皆さんへ	5 ページ
栄養サポート	6 ページ
当院の安全な医療への取り組み	
オープンホスピタルの報告について	7 ページ
仙南夜間初期急患センターのご紹介	
外来診療時間及び担当医師のご案内	8 ページ





# 住民の医療安全への参加

副院長 最 首 俊 夫

当院では、緩和ケア病棟の開設、仙南2市7町による仙南夜間初期急患センターの院内敷地内での診察など、新たな医療の取り組みが始まっています。

一方、医療界では、腹腔鏡下手術による医療事故などの報告が相次いでおり、医療安全対策が、今まで以上に重要になってきています。また、医療安全対策は病院内にとどまらず住民参加も重要です。そこで住民参加の活動を紹介するとともに、住民の医療への参加をお願いします。

当院は、医療安全全国共同行動に数年前から参加しています。医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”は、日本の医療をになう医療者と医療機関（病院・診療所）、医療の発展を支える学会・医療団体がそれぞれの立場や専門性を活かして連携・協力し、患者さんと医療者がともに安心してケアに専念できる環境づくりをめざす活動です。ホームページ（HP）もあり、誰でも活動内容を見るることができます。医療安全全国共同行動では、9つの行動目標があります。危険薬の誤投与防止、周術期肺塞栓症の予防、危険手技の安全な実施、医療関連感染症の防止、医療機器の安全な操作と管理、急変時の迅速対応、事例要因分析から改善へ、患者・市民の医療参加、安全な手術—WHO指針の実践の9つのです。

患者・市民の医療参加の目標・活動は以下の通りです。

## 【目標】

患者・市民と医療者のパートナーシップを通

じてケアの質・安全と相互信頼を向上させる

## 【活動】

1. 患者さんや地域の市民が参加・参画して医療の質・安全を向上させる活動を新規に実施する。
2. 活動の成功体験や教訓を共同行動HPから紹介する。

支援ツールを用意している参考モデルとしては、(a)「安全は名まえから」(患者と医療者の協同によるフルネーム確認)、(b)「からだと病気を知るために」(院内患者図書室の設立)、(c)「転ばぬ先に」(患者参加の転倒転落防止)、(d)「3つのポンプを働かせよう」(患者参加による周術期肺塞栓症の予防)、(e)「1冊にまとめて安心お薬手帳」(お薬手帳による処方と与薬の安全管理)

当院は、現在「安全は名まえから」、「1冊にまとめて安心お薬手帳」への住民参加を推進しています。今後、院内患者図書室、患者参加による周術期肺塞栓症の予防、患者参加の転倒転落防止を住民参加の中で進めていきたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願いします。



# ●●・診療科紹介(1)●●



## 形成外科

形成外科主任部長 澤 村 武

形成外科とは、見た目の悪いところを手術で改善する科です。たとえば、唇裂や多指症、小耳症など、先天性の外表奇形の治療や、熱傷や、顔面、手の外傷の治療、また手術に伴う組織欠損の治療等を行なっています。最近は、持続吸引療法など創傷治癒にも力をいれており、キズをはやすく、きれいに治す事も目的のひとつになっています。

**1・手の外科** 手は、日常的によく使われるところであり、けがをすることが多い部位です。その手の外傷の治療を行っています。また変形、機能障害に対しても治療を行っています。具体的には、指の骨折、舟状骨を含む手根骨骨折、脱臼、ねんざなどに対し、保存的療法または手術的療法を行います。また、指神経断裂、伸筋腱断裂、屈筋腱断裂に対し縫合術を行います。適応のある指切断に対し、再接着術を行います。また、組織欠損に対し、植皮術、皮弁術を行います。その他、デュブイトレン拘縮（手のひらや指にしこりが生じ、指が曲がり伸ばせなくなる状態）などの瘢痕拘縮の治療も行っています。

**2・顔面外傷** 顔のきずをなるべく目立たないように縫合します。また、傷跡に対しても、なるべく目立たなくするために切除し、再度きれいに縫合します。また、頬骨、鼻骨などの顔面骨の骨折に対し、手術を含む治療を行っています。

**3・外見先天異常** 外見上、機能上問題となる、顔や手足の先天異常の手術療法を行っています。副耳、埋没耳、耳垂裂、耳瘻孔、おれ耳、唇裂、口蓋裂、副乳、臍突出症、多指症、合指症などの手術療法を行っています。

**4・熱 傷** 皮膚科の先生と協力し、入院、手術が必要な熱傷を治療しています。植皮を含む手術を行っています。

**5・癌切除後の再建** 他科と協力し、癌切除後の組織欠損に対し、植皮術、皮弁術、筋皮弁術などで再建します。

**6・良性の皮膚、皮下腫瘍の切除** アテローマ（粉瘤腫）、脂肪腫、ガングリオン（関節周辺や腱付近に出来るゼリー状のものが固まった瘤腫）などの良性腫瘍の切除を行なっています。

また、陷入爪、バネ指、ケロイド、動物咬創、ガラス、とげ等の異物残存なども治療しています。

## ●●・面会時間のお知らせ●●

※入院患者さんの安静・治療のため、面会時間は必ずお守りください。

※患者さんの状態によっては面会時間内でも面会をご遠慮いただく場合もありますので、ご了承ください。

※面会カードを発行しておりますので、お受け取りになってからご面会ください。面会後は必ず返却をお願い致します。

平 日
一般病棟 14:00~20:00
2階重症病棟 14:00~16:00
土曜日・日曜日・祝日
一般病棟 11:00~20:00
2階重症病棟 14:00~16:00

## ●●● 診療科紹介(2) ●●●



### 皮膚科

皮膚科科長 東 條 玄 一

当院の皮膚科は平成14年8月の開院時に開設され、常勤医2名体制で診療しています。皮膚疾患全般を対象とし、特に皮膚腫瘍（良性、悪性）の診断と治療、炎症性皮膚疾患（乾癬、中毒疹、薬疹など）、皮膚感染症（蜂窩織炎などの細菌性疾患、帯状疱疹などのウイルス性疾患、足白癬などの真菌症）、皮膚科救急疾患（アナフィラキシー、尋麻疹、熱傷など）、円形脱毛症の治療を中心としています。これらの疾患は当院形成外科、外科や東北大学皮膚科と連携しながら診療を行っています。

村田診療所でも月曜日に大学医師、金曜日には当院医師がそれぞれ午後に診療を行っています。患者数が30~40人と多く、紹介状は不要ですが診察まで時間がかかる場合がありますので、ご理解下さいますようお願いいたします。

当科へ紹介受診される方で多い病気のひとつに「できもの（皮膚腫瘍）」があります。皮膚腫瘍は良性か悪性かの鑑別、確定診断には病理所見を確認しなければいけません。そのため皮膚生検または全摘出する場合もあります。昨年は足のうらの色素斑の方が多かった印象があります。色素性病変等の診察器具として、ダーモスコピーという器具が数年前から用いられています。病変の色素沈着が皮溝、皮丘のどちらにみられるのか、そして沈着の様子はどのようなものか等を確認することができます。その全体の構築、細部構造のパターンから良性か悪性の鑑別を考えることができます。しかし、ダーモスコピーだけで色素性母斑と悪性黒色腫の鑑別が完全にできるわけではなく、ダーモスコピーは診断の手がかりを得るための手段の一つと考えています。色素性病変に限ったことではありませんが、腫瘍性疾患の他、炎症性皮膚疾患についても視診、触診、問診と病理所見を含めて総合的に判断することが重要と考え、診療しています。

皮膚の病気でお困りの方は、近くの開業医の先生の診察を受け、相談のうえ紹介状を書いてもらい、予約をとって受診していただきますようお願いいたします。



## ●●● 外来ボランティアの募集 ●●●

当院では外来ボランティアさんの募集をしています。ボランティア活動に興味のある方は、ぜひご応募ください。

- 活動内容：ご来院の方の院内案内や移動のお手伝い、図書の準備・整理など
- 活動時間：平日9:00～11:00のうち、ご希望の曜日、時間で活動していただきます。（要相談）
- 活動条件：申込み時に18～65歳までの心身ともに健康な方
- 問い合わせ：みやぎ県南中核病院 総務課 関場まで  
TEL (0224)51-5500 (内線 2010)



現在は13名登録され、毎日平均2～3名の方に活動していただいております。ボランティア未経験の方も活動できるように、事前に面談とオリエンテーションを行っております。

# ●●・緩和ケア病棟のご案内・●●



腫瘍センター長 杉山 克郎

平成27年5月1日より、緩和ケア病棟（12床）が開棟しました。

緩和ケアというと、がんの終末期に行われるケアであると思われている方は少なくないかもしれません。しかし、現在では、がんと診断された患者には、より早期から提供されるべきものであると考えられています。従って、がんと診断され、がんに対する治療（手術、抗がん剤、放射線など）が始まると同時に、入院中あるいは通院中に苦痛の緩和を目的とした治療を並行して行うのが緩和ケアです。

また、緩和ケアでは、身体的苦痛だけでなく、精神的苦痛、社会的苦痛などの全人的な苦痛緩和を目的とし、患者のQOL（Quality of Life: 生活の質）の維持向上を目的とし、その人らしく最期まで生活することを支えることを目標とします。

そのような中で、緩和ケア病棟（ホスピスという名称で設置している施設もあります）は緩和ケアを専門的に提供する病棟で、一般病棟や在宅ケアでは対応困難な心身の苦痛がある患者への対応や、人生の最期の時期を穏やかに迎えることを目的とした入院施設です。外来で通院緩和ケアを受けていた方、在宅で緩和ケアを受けていた方が自宅で過ごすことが困難になった場合の受け皿としての機能があります。

緩和ケア病棟について知っておいていただきたいことは、ここではがんに対する積極的な治療は行いませんし、人為的な延命処置（人工呼吸器、心臓マッサージ、輸血、透析）なども行わない、ということです。また、緩和ケア病棟に入院しても、症状の緩和が十分に行われ、症状が安定した場合には、退院して在宅緩和ケアをおすすめすることや、一般病棟への転棟や他病院への転院を検討することもあることもご理解ください。

## 入院のために必要な条件

患者さんご自身がご自分の病状を理解し、がんに対する積極的な治療をしないことに同意され、緩和ケア病棟への入院を希望することが原則です。



## 入院を希望される方へ

入院の申し込みが必要です。予約制となっており、紹介状が必要ですので、かかりつけの先生、主治医の先生にご相談ください。入院の可否や、入院の時期の判断は、入棟判定会議で決定します。

## 住民の皆さんへ



当院は、地域のかかりつけ医の先生方と連携し役割を分担しながら診療にあたっております。初期診療はかかりつけ医の先生で、高度あるいは専門的な医療が必要な場合は当院で担うというように、役割・機能を分担していますので、以下の事をお願いしております。

- ①緊急性のない場合は、かかりつけ医の先生を先に受診していただくようお願いいたします。
- ②地域の診療所からの紹介及び予約の患者さんが優先となっておりますので、紹介状がない場合は待ち時間が長くなる場合がありますのでご了承ください。（救急を除く）
- ③当院受診の際、紹介状のない患者さんは診療費の他、厚生労働省告示により保険診療外として1,620円（税込み）をいただいております。

# …栄養サポート…

## 大豆入り キーマカレー



近年、大豆は健康志向からも世界中で注目を浴びている食品ですが、国民栄養調査によれば、日本人の大豆の摂取量は減少しているようです。

今回はお肉の代わりに半分は、大豆を使用しました。大豆の味がまろやかでカレーと良くあう一品だと思います。コレステロールもお肉の半分です。

### 栄養量(1人前)

エネルギー 349kcal 蛋白質 18.6g 脂肪 22.2g  
カリウム 671mg リン 244mg 亜鉛 2.1mg  
コレステロール 39.0mg(挽肉だけ作ると80.4mg)

### 材料(4人前)

大豆(ゆでたもの)……………カップ2(約300g)  
干ししいたけ…(大)2枚 ピーマン……40g(2個)  
豚ひき肉……………200g にんにく…1かけ(みじん切)  
サラダ油…15g(大匙1) カレールウ…80g(市販)  
にんじん…50g(中1本) 穀物酢……………大匙2  
たまねぎ…100g(中1個) 水……………カップ3

### 作り方

- ① 水で戻した干ししいたけは1cm角に切る。にんじん、たまねぎ、ピーマンは7~8mm角に切る。
- ② 大豆はザルに上げて水気をよくきる。
- ③ フライパンにサラダ油大さじ1を熱してにんにく、玉ねぎをきつね色に炒め、ひき肉をパラパラになるまで十分に炒める。
- ④ 次に人参、大豆、干ししいたけ、水、穀物酢を加えて、人参が柔らかくなるまで10分くらい煮る。カレールウ、ピーマンを加え更に10分くらい弱火で煮る。器に盛り、ご飯、パン、ナン等を添えて食べる。  
冷凍保存ができますので、多めに作っておくといつでも利用できます。

※大豆(乾) 約カップ1をたっぷりの水に一晩つけて戻し、その水で柔らかくなるまで茹でて使用する。  
または水煮になっている缶詰やパックを使うと手軽にできます。

### 大豆

大豆は世界中で栽培されています。諸説ありますが、中国が最初の栽培地で日本には縄文時代に存在したと思われる大豆の出土例があり、『古事記』にも大豆の記録が記載されています。大豆は、肉、牛乳や卵に匹敵する良質なタンパク源であり、鉄分、カルシウムなどのミネラルを多く含みます。

日本・ドイツでは「畑の(牛)肉」、アメリカ合衆国では「大地の黄金」ともいわれています。

また、大豆イソフラボンは骨粗しょう症の予防や更年期障害の軽減等に有用と言われております。

日本では味噌・油・豆腐・納豆・きな粉・油揚げ・がんもどき・炒りまめ・湯葉・大豆粉・枝豆・大豆油と様々な形で利用されています。



[栄養管理室]

# ••• 当院の安全な医療への取り組み •••

平成27年6月 医療安全管理室

当院は、住民の皆様が安心して医療を受けていただけるよう医療安全を推進しています。その活動の1つとして、具体的な「事例」を紹介することにより住民の皆様の医療安全へのご協力ををお願いしています。

外来診察室で医師が誤って他の患者さんの処方箋を「患者基本カード」にはさみました。看護師は処方箋が他の患者さんのものと気付かないまま、患者さんへ次回来院の説明を始めました。その際、処方薬の説明をしたところ、患者さんから「私は薬をもらっていないが薬が出たのでしょうか」と質問されました。看護師が処方箋の名前を確認したところ他の患者さんのものであることに気付きました。

当院では患者さんに処方箋を渡す際、患者さんと一緒に名前を確認するように指導していますが、この時看護師は忙しく他のことに気をとられていたため、患者さんの名前を確認するのを忘れていました。

当院では「人間は間違うことがある」ことを前提にチェックを2重3重に行うなど安全な医療へ取り組んでいますが、住民の皆様のご協力も必要です。この事例のように患者さんが疑問に思ったことを声に出していただくことで間違いが避けられることがあります。疑問に思った時は遠慮なくお申し出ください。

## ••• 第2回みやぎ県南中核病院 オープンホスピタルを開催しました •••

平成27年3月14日(土)にオープンホスピタル(地域住民病院見学会)を開催しました。

当日は100名を超える方々に来場していただき、盛況のうちに終了いたしました。昨年同様に医療講演、看護師体験や医療器具を使用しての模擬体験等に加えて、今年は構成市町のPRキャラクターの参加があり一層の盛り上がりを見せました。



## ••• 仙南夜間初期急患センターのご紹介 •••

仙南2市7町、地域の医師会の協力を得て、大河原町が主体となり当院敷地内に仙南夜間初期急患センターが開設されました。

かかりつけ医の診療時間外(平日の夜間)に急に体の具合が悪くなった方の診療を行います。当院の救急外来は、救急車などで搬入された重症の方の診療が優先されますので、比較的軽症の方は是非ご利用ください。

- ◆ 診療日／月曜～金曜日  
土・日・祝日、年末年始(12/29～1/3)は休診となります。
- ◆ 受付時間／午後6時45分～午後9時30分
- ◆ 診療科目／内科(16才以上のかた)  
※16才未満のかたは受診できません。
- ◆ 診療費／保険診療費のみ  
(当院の救急外来で紹介状のない場合にかかる選定療養費1,620円は不要です)
- ◆ 所在地／みやぎ県南中核病院敷地内  
(右上図をご覧ください)
- ◆ 問合せ先／☎51-9986  
※お問い合わせは受付時間内(午後6時45分～午後9時30分)にお願いします。



# 《外来診療時間及び担当医師のご案内》

2015年6月予定

診療科	受付時間 (診察時間)	月	火	水	木	金
内科	糖尿病	8:00~11:00 (9:00~)	坂田芳之	非常勤医師	坂田芳之	非常勤医師
	甲状腺 (第1・3・5金曜)	9:30~11:00 (10:00~)	X	X	X	X
	(第2金曜)	13:00~15:00 (13:30~)				
	リウマチ・膠原病	13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	X	X	佐藤 仁
		13:00~15:00 (13:30~)	X	X	非常勤医師	X
		13:00~16:00 (13:30~)	佐藤 仁	X	X	佐藤 仁
	腎臓病	9:30~11:00 (10:00~)	X	X	山本多恵 (非常勤医師)	X
		13:00~15:00 (13:30~)				
循環器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤愛剛	小山二郎	富岡智子	塩入裕樹
	再来		塩入裕樹	井上寛一	伊藤愛剛	井上寛一
消化器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	梅村 賢	阿曾沼祥	佐藤晃彦	木村 修
	再来		佐藤晃彦	高橋貴一	梅村 賢	高橋貴一
	肝臓(紹介のみ)		X	X	X	木村 修
腫瘍内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	二井谷友公	X	杉山克郎	杉山克郎
	再来		杉山克郎	二井谷/非常勤医師	二井谷友公	杉山/非常勤医師
緩和ケア外来(紹介のみ)		13:30~15:30 (14:00~)	X	杉山克郎	X	杉山克郎
呼吸器内科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	岡田信司	綿貫善太	岡田信司 大河内眞也 (非常勤医師)	岡田信司 東出直樹
	再来					
	呼吸器腫瘍 (第1・3・5金曜)	8:00~11:00 (9:00~)	井上 彰 (非常勤医師)	X	X	X
神経内科	新患(予約優先)	8:00~11:00 (9:00~)	宮澤康一	澁谷 聰	菅野重範	四條友望 (非常勤医師)
	再来		菅野重範	中原/渡辺	澁谷 聰	望月 廣
外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	佐藤 俊	嶋健太郎	後藤/鈴木/林	上野達也
	再来		高橋/井上	上野達也	佐藤 俊	嶋/(高橋)
	呼吸器・外因 第1・3・5火曜 (紹介のみ)	8:00~11:00 (9:00~)	X	非常勤医師 (第1・3・5火曜)	X	X
	血管・外因 第2・4木曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	X	X	非常勤医師 (第2・4木曜)
	乳腺・外因 第1火曜・第3金曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	非常勤医師 (第1火曜)	X	非常勤医師 (第3金曜)
	スマ外科 第1木曜・第3水曜 (紹介のみ)	13:00~16:00 (13:30~)	X	X	(再来)内藤広郎 (新患)内藤広郎 (第3水曜)	(新患)内藤広郎 (第1木曜)
	肛門外科 (紹介のみ)	9:00~10:30 (9:00~)	X	X	内藤/上野	X
	脳神経外科	8:00~11:00 (9:00~)	荒井啓晶	X	荒井啓晶	荒井啓晶
整形外科	新患	8:00~11:00 (9:00~)	X	橋本禎敬	X	松澤 岳
	再来					鈴木貴之
	リウマチ外科脊椎外来	13:00~16:00 (13:30~)	X	松澤 岳	X	橋本禎敬
形成外科		8:00~11:00 (8:30~)	澤村 武	澤村 武	澤村 武	澤村 武
褥瘡外来(紹介のみ)		13:30~15:00 (14:00~)	X	X	X	澤村 武 (第2木曜)
皮膚科	新患	8:00~11:00 (8:30~)	X	八丁目直和	八丁目直和	東條玄一
	再来			東條玄一	非常勤医師	八丁目直和
リハビリテーション科		14:00~16:00	瀬田 拓	X	瀬田 拓	X
小児科	一般(午前)	8:00~11:00 (8:30~)	大原/林/ 小山/二瓶	小山/二瓶	小山/二瓶	大原/林/ 非常勤医師
	一般(午後)	15:00~16:00 (15:00~)	大原/林/ 小山/二瓶	小山/二瓶	小山/大原	林/大原
	心臓外来	13:00~15:00 (13:30~)	X	大原朋一郎	X	X
産婦人科	一般	8:00~11:00 (9:00~)	戸澤秀夫	圓谷 隆	戸澤秀夫	立花眞仁
	妊婦健診		立花眞仁	戸澤秀夫	圓谷 隆	立花眞仁
泌尿器科		8:00~11:00 (9:00~)	和泉卓司	和泉卓司	川村裕子	和泉卓司
眼科		13:00~16:00 (13:30~)	X	非常勤医師	X	非常勤医師
耳鼻咽喉科		8:00~11:00 (9:00~)	新川/工藤	新川/工藤	X	工藤貴之
	13:30~16:00 (14:00~)	非常勤医師	X	非常勤医師	非常勤医師	
歯科口腔外科	一般(午前)	8:00~11:00 (9:00~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚	伊藤/君塚
	一般(午後)	13:00~16:00 (13:30~)	伊藤/君塚	伊藤/君塚	千葉雅俊 (非常勤医師) (第2水曜)	伊藤/君塚

この時間帯については、変更となる場合がありますのでご了承ください。

● ● 緊急性の高い患者さんは、この時間に関係なく24時間受付いたします。  
 ● ● 他院からの紹介状をお持ちの方のみ、電話での予約を受け付けています。受付は、平日の午前9時から11時まで(地域医療連携室)です。予約変更の受付は、下記病院代表番号まで平日の午後2時から4時の間にご連絡下さい。  
**みやぎ県南中核病院** TEL 020-91250333 宮城県柴田郡大河原町字西38-11 TEL 020-451-55200 (代表)